



# しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい  
～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

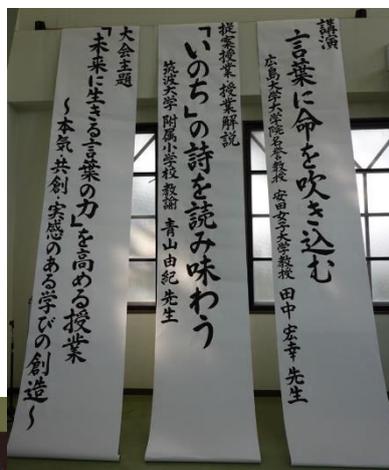
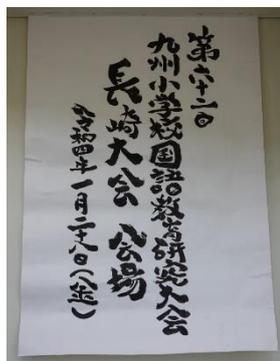
## 幻の「九州小学校国語教育研究大会」

1月28日（金）は、九州各県から多くの先生方を招いて「九州小学校国語教育研究大会長崎大会」を盛大に開催する…はずでした。

ところが、新型コロナウイルス感染症の感染が急速に拡大し、開催直前で長崎県がまん延防止等重点措置の指定を受けることとなったため、断腸の思いで「中止」の判断をしました。

子供たちに向けて、各県から選ばれた実践家たちが飛び込みでスペシャルな授業をしていただける機会を逸してしまったことは、とても残念でした。本校の教員にとっても大きな刺激を受ける研究会になるはずでした。保護者の皆さまのお力をお借りしながら、山里小学校へ他県からたくさんのお客様をお招きすることも楽しみにしていたところです。

けれど、大きな大会はできませんでしたが、山里小学校内では、校内研究として充実した研修の一日となりましたので、ご紹介します。



午前中は、長崎県の代表として授業を提案する予定だった2年2組の山下歩美教諭が授業を公開しました。すべての教員で参観し、研究協議も実施できました。指導助言には長崎大学の長谷川哲朗教授に来ていただきました。



2年生の子供たちはよく頑張り「素晴らしい実践である」との高い評価を得たところです。

午後からは、オンラインで筑波大学附属小学校の青山由紀先生と広島大学名誉教授・安田女子大学教授の田中宏幸先生のご講演を拝聴しました。本来なら400人以上の参加者と共にお聞きする内容を山里小の教員だけのために実施していただきました。贅沢な時間です。皆でしっかりと学びを深めることができました。

この学びを子供たちへ向けた今後の日々の教育活動へ生かしていきたいと考えています。

感染拡大の波はまだまだ収まりそうにありません。長崎市内のいくつかの学校では学級閉鎖や休校なども出てきています。

残り2か月も感染防止対策を行いつつ、大人も子供も「学びを止めない」という姿勢を貫いていきたいと考えています。